

## 東峰村災害復旧事業支援

派遣先 東峰村 建設水道課 災害対策室  
所属 危機管理室 危機管理課  
氏名 松田 敬三  
活動期間 平成30年4月2日～（継続中）

### 1 赴任する前 平成29年7月九州北部豪雨災害

平成29年7月5日からの豪雨による災害。その日は北九州市で勤務していた。島根県で強い雨の情報があり、その後、降雨域が南下していたため北九州も警戒が必要と考えていたところ、降雨域は北九州を飛び越えるように筑後北部に移り、長時間の豪雨が続いたと記憶している。

平成29年12月の北九州市任期付職員（被災自治体への派遣）採用選考の案内により公共土木施設災害復旧事業に取り組みたく応募し、派遣されることが決定した。

東峰村公共土木施設災害復旧事業

災害査定箇所 115箇所

※査定は平成29年12月に終了していた。

早期発注箇所 24箇所

平成30年3月に契約済

箇所数は公共土木施設災害復旧事業のもの。農地災害、林道災害も発生しており、それぞれ復旧のため担当係が設けられていた。

### 2 赴任 平成30年4月

北九州市辞令

北九州市一般職の任期付職員の採用に関する条例第3条の規定により

北九州市職員(一般技術員)に採用する

危機管理室危機管理課勤務を命ずる

地方自治法第252条の17の規定により東峰村へ派遣を命ずる

東峰村辞令

東峰村職員にあわせて任命する

技師をあわせて命ずる

建設水道課（災害対策室）勤務を命ずる

平成29年度に活動された皆様から引継を受け、早期発注されていた箇所の工事監督、未発注箇所の実施設設計書の作成を開始した。

### 3 業務内容 工事監督と実施設計書の作成

赴任した時に前任の皆様による災害査定設計書が完成してため、工事監督と実施設計書作成が主な業務である。

工事監督は、平成 29 年度内に契約されたものと実施設計書を作成し発注したものについて行い、工事の進捗にあわせて変更設計書を作成し、工事を完成させるもの。

実施設計書の作成は、災害査定設計書をもとに積算根拠等を明確にして最新の単価、歩掛に置き換えて作成するもの。

ともに経験している業務内容であるが、災害査定設計書をもとにした実施設計書の作成は 30 年近く携わっていなかったものである。被災地の状況によっては実施設計額が査定額から大幅に増額し、国土交通省へ提出する重要変更協議書の作成が必要となったが、この協議書作成は初めてのことで日数を要した。

### 4 担当箇所の一部

#### ○河川災害復旧工事

洪水の影響で河床洗掘、側方浸食により崩壊した箇所  
ブロック積擁壁を施工

着工前



竣工



この箇所は、上流側が福岡県朝倉農林事務所の治山工事個所のため、治山工事の進捗にあわせて工事を行った。

出来形確認風景



○道路災害復旧工事

豪雨による法面の崩壊 舗装の剥離  
法面の崩土を取除き植生基材吹付を施工

着工前



竣工



倒木の撤去を伴った



舗装復旧範囲の確認風景



○その他

暗渠が塞がっているなどの情報により調査を行っている。



調査風景

5 業務全般について

平成 29 年度に活動された皆様により災害査定設計書が完成していたことから工事監督と実施設計書の作成から業務にあたることができたと感謝。豪雨災害から短期間で調査、測量、設計を行い災害査定に臨むことは極めて困難である。

また、被災箇所に関連する土地所有者の確認と同意取得に尽力されている役場の皆様、困難を克服して工事を施工されている業者の皆様に感謝し、平成 30 年度から派遣された福岡県、長崎県、北九州市職員とともに業務に取り組んでいる。その際に知識、経験の豊富な職員から助言を受けること多々あり。

## 6 その他(勤務時間外)

### ○単身赴任について

大分県日田市のアパート住まいで車通勤

ほぼ毎週、金曜日の就業後に自宅へ戻り、日曜日に日田のアパートへ向かう  
アパートで音楽を聴き精神的圧迫から逃れ、飲酒は基本的に自宅に戻った時

### ○東峰村について知らなかったこと

- ・筑前国であるが、天気予報は筑後地方(筑後北部)

- ・自動車登録は、天気予報と全く同じ区割り朝倉郡東峰村は久留米ナンバー



気象庁の HP より

九州運輸局 福岡運輸支局	福岡市、春日市、大野城市、太宰府市、筑紫野市、宗像市、糸島市、古賀市、福津市、筑紫郡、糟屋郡
北九州自動車検査登録事務所	北九州市、行橋市、豊前市、中間市、遠賀郡、京都郡、築上郡
久留米自動車検査登録事務所	久留米市、大牟田市、柳川市、朝倉市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、みやま市、朝倉郡、三井郡、三潴郡、八女郡
筑豊自動車検査登録事務所	直方市、飯塚市、田川市、嘉麻市、宮若市、鞍手郡、嘉穂郡、田川郡



- ・東峰村は福岡地域  
福岡県の HP 県勢概要より→

### ○東峰村について知っていたこと

- ・小石原村と宝珠山村の合併により東峰村が発足
- ・主な道路 国道 211 号 起点:大分県日田市 終点:北九州市八幡西区

## 東峰村における公共災害復旧業務に従事して

派遣先 東峰村 建設水道課 災害対策室  
所属 危機管理室 危機管理課  
氏名 重廣 正治  
活動期間 平成30年4月1日～（継続中）

### 1 現地での業務

東峰村において建設水道課災害対策室の一員として、平成29年7月に発生した九州北部豪雨災害の復旧業務を行っています。

業務内容は、公共土木施設の道路、河川に係る設計、積算、工事監督等です。

### 2 現地での活動経過

現在、私が担当している工事は4件（査定件数で7件）で、平成31年2月になって2回目の入札で新たに1工事（査定件数で3件）が落札されました。

工事は河川が主で、現場は山間部の狭隘、急峻な地形のため重機等の寄付きが難しい所が多く、工区によっては本体工事より仮設道路を作る方が手間がかかる場合があります。

### 3 困難であった点や改善すべき点

- ・ 去年の夏頃から入札の不調が続き、復旧の遅れが懸念されていますが、村では指名業者を近隣市町まで広げて対処しています。今回の災害が広域なため、業者は手持ちの工事を抱えており、工事が消化され次第順次発注して行くという状況です。
- ・ 河川護岸を復旧する際、農業関連の取水口、降り口（階段）や渡橋設置などの要望がありますが、その都度村の職員とともに対処しています。もともと個人で設置した施設であることが多く、村としても検討課題としています。

### 4 活動を通じて印象に残ったこと

河川の現場を歩いているときに河床の玉石に躓いて足を挫いたり転んだりしたことがありました。一時は気が滅入ることもありましたが、村民の方々は、北九州市から来ているということで皆さん工事には協力的なこともあって、一刻も早い復旧ために力になりたいという思いを新たにしました。

工事の実施に当たり、単独災害復旧事業により本体工事付近の小規模な箇所も仮設道路があるうちに復旧できる仕組みを導入したのは大変良かったと思います。

私は、単価歩掛は数年ぶり、特にCADは触ったことがなかったので当初不安がありましたが、班の皆さんに聞きながらやっています。

また、生活においては、日田市の民間の借り上げ宿舎に住んでいますが、ここの生活にもようやく慣れてきました。



下郷川にて現場立会



原川にて現場代理人と打ち合わせ

## 5 北九州市の防災に必要なこと

災害復旧事業は、公共土木施設災害復旧事業国庫負担法に基づいて実施されますが、結構手続きや事務作業の期限等に制約があるので、大規模災害の復旧経験のある職員を普段から育成しておく必要があると実感しました。

また、各地で毎年のように地震や大雨の被害が発生しています。一方で建設業界は後継者不足や若者離れで業者数は長期的に減少傾向にあり、大掛かりな復旧対応が難しい状況です。業界の生き残り施策とともに、復旧ノウハウをもった業者の育成も必要と思います。